

授業コード	14001	授業題目	学校教育論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火1
担当教員名	神山正弘			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	現代学校の課題を実践的、理論的に解明することを目的とする。						
授業計画	子どもと社会。学校教育の制度とその経営。教育課程の編成。教育システムの改革。これらを内外の動向を紹介しながら解説する。						
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14002	授業題目	学校経営論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火2
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。						
授業計画	テキストの各章を分担して講読し、それに関わる実践上の課題を出し合う 1 オリエンテーション 2 プレゼンテーション用レポート作成のための演習 3～14 テキストの講読 15 学校経営論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項を理解することができる 2 学校教育の諸側面について経営的・組織的観点から分析することの意義を知ることができる						
授業時間外の学習	テキストの分担箇所についてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱うテキストを予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書	小島弘道編著『学校教育の基礎知識[改訂版]』(協同出版、2002年)						
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14004	授業題目	学習指導論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>学習指導に関する教育心理学の理論的研究を紹介し、学習指導への実践的アプローチを試みる。 本年度は指導と評価の一体化を図るための教育評価の方法について探る。</p>						
授業計画	<p>①教育評価に関する理論的見解や教育実践に役立つ新しい教育評価の方法について紹介する。 ②受講生が自ら教育評価や学習指導に関する研究テーマを設定し、発表し、討論を行う。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>自ら学ぶ意欲や確かな学力の育成において、指導と評価の一体化を図る授業づくりがいかに大切であるかを認識するとともに、その評価の方法についての技能を身につけることができるようになる。</p>						
授業時間外の学習	<p>自分の設定したテーマにしたがって調べ学習が求められるので、授業時間外の学習の時間がかかり必要である。</p>						
教科書・参考書	<p>特に指定していない。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席回数とレポート作成、発表を総合して評価する。</p>						

授業コード	14005	授業題目	教育相談論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	集中
担当教員名	丹羽洋子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	教育相談の心理学的基礎となる学校カウンセリング心理学の立場から、問題にアプローチする。						
授業計画	ロジャースの教育の3大原則にもとづいた問題ごとの子ども理解の仕方やそれに対する学校現場で使えるカウンセリングテクニックについて論じる。						
達成目標(達成水準)	子どもの心身の健康をより促進するかかわり方や、学校適応への回復を支援する実践的な力を獲得する。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14006	授業題目	情報演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	裏垣 博			担当教員所属	技術教育専修		
担当教員電話	8408			担当教員 E-Mail	uragaki@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的とする。						
授業計画	コンピュータとソフトウェアの基本操作ならびにネットワークの利用方法に関する演習を行う。Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能の学習に重点を置く。						
達成目標(達成水準)	授業計画に掲げた内容について、習熟する。						
授業時間外の学習	コンピュータを有効に活用するために、課外時間や自宅での学習を積極的に行う必要がある。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。必要に応じてプリントを配布する。						
成績評価の基準と方法	出席状況を含む平常点とレポートを考慮して総合的に評価する。						

授業コード	14007	授業題目	情報演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金2
担当教員名	普喜 満生			担当教員所属	理科教育専修		
担当教員電話	8420			担当教員 E-Mail	fuki@s.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身につけることを目的として、講義と演習を行う。						
授業計画	ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、メールやWebの利用、ホームページの作成、各種ソフトウェアの活用などである。						
達成目標(達成水準)	ある程度習熟した人を対象に、技能の修得に加え情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考える。						
授業時間外の学習	自前のノートパソコンを携行し、インターネットなども利用するとよい。						
教科書・参考書	特にないが、資料・プリント等を配布する。下記URLも参照のこと。 http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html						
成績評価の基準と方法	授業態度とレポートで評価する。						

授業コード	14601	授業題目	数学教育特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火3
担当教員名	國本景亀			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	8443			担当教員E-Mail	coonie@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	数学教育の本質論、原理論を論究する。数学教育における認識論や学習理論及びそれに基づく実践等から数学教育に適した教授原理を導き出し、それに基づく数学教育実践論を考察・構築する。						
授業計画	1-4: 数学教育における認識論や学衆論: 構成主義、相互作用主義、社会文化主義等の理論やそれらの関連について講義し、議論する。5-8: 上記の各理論における実践を批判的に考察し、それらのなかから教授原理を抽出する。9-15: 上記の教授原理を中心にすえて、数学教育の実践論を構築する。						
達成目標(達成水準)	授業計画にあげた各理論を理解するとともに、そこから得られた教授原理をもとに、授業を構想できる。						
授業時間外の学習	さまざまな関連する文献を調査し、それをもとに、講義内容を深めるように、研究する。						
教科書・参考書	こちらが資料等を用意する。						
成績評価の基準と方法	出席日数、レポートの提出、議論に対する積極性、資料の検索と要約等。						

授業コード	14602	授業題目	数学教育特論演習 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	木3
担当教員名	國本景亀			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	8443			担当教員E-Mail	coonie@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	数学教育実践論の応用・検証を考究する。学習指導要領、教科書、従来の授業実践等の基礎にある教授原理を分析し、その問題点を明らかにする。また、数学教育実践論に基づき、授業単元を設計し、教材開発や指導法の改善を行い、それらの適切性を実証的に検証する。						
授業計画	1-5: 従来の学習指導要領、教科書、授業実践を収集し分析する。6-10: 前記の分析に基づき、その問題点を抽出し、それを批判するとともに、その改善をはかる。11-15: 今までの考察をもとに、教材を開発したり、授業を設計し、それを実践することにより、教材の適時性等を検証する。						
達成目標(達成水準)	資料の収集と分析が十分かどうか。それから問題点を抽出し、教授原理として要約できているかどうか。新しい教材を開発できるかどうか。それらをもとに、授業を設計し、実践し、検証できること。						
授業時間外の学習	資料の収集と分析。新しい教材の開発。授業を設計し、実践し、検証できるための準備。						
教科書・参考書	基本的に、こちらの方で準備する。ただし、院生が主体的に文献を検索し、新しい教材開発に生かす。						
成績評価の基準と方法	学習指導要領、教科書、授業実践の分析の程度。新しい教材の開発。授業構想案の作成。						

授業コード	14603	授業題目	数学教育特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	水2
担当教員名	中野俊幸			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話				担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	内外の文献をもとに、数学教育学研究の基礎的理論を理解させる。特に、数学教育学に深く関わる数理哲学、数学認識論、認知心理学、知識社会学、記号論などの立場から、人間の知的活動と数学との関係を論究する。						
授業計画	主に、最近の欧文の文献を中心に講読させ、関連する数学教育学の基礎理論を詳説する。また、補完する形で、関連する欧文の文献を随時与えて、内容をまとめさせ理解の深化を図る。						
達成目標(達成水準)	数学教育学研究の基礎的理論を理解すること。						
授業時間外の学習	予習としては、欧文の文献を精読・邦訳し、内容の理解事項と疑問点を明確にしておくこと。復習としては、授業で得られた内容を、整理し、さらに関連する文献を読み、まとめること。						
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・International Handbook of Mathematics Education (Kluwer AP) ・Mathematics Education Library (Kluwer AP) 						
成績評価の基準と方法	欧文邦訳や授業中の問いかけに対する応答、レポートなどから理解度を計り、さらに、授業態度を総合して評定する。						

授業コード	14604	授業題目	数学教育特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	月3
担当教員名	中野俊幸			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話				担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	数学教育特論Ⅱの理論的視座から、数学教育実践の諸問題を考察する。特に、内外の文献や授業実践をもとに、数学教育の活動主義、構成主義の対場から、具体的な教材構成、授業構成、学習指導及び評価・分析方法について考察する。						
授業計画	数学教育特論Ⅱに引き続き、文献を講読させ、関連する数学教育学の基礎理論を詳説するとともに、内外の文献や授業実践をもとに、数学教育の活動主義、構成主義の対場から、具体的な教材構成、授業構成、学習指導及び評価・分析方法について考察する。						
達成目標(達成水準)	数学教育学の基礎的理論的視座から、数学教育実践の諸問題を考察できること。						
授業時間外の学習	予習としては、欧文の文献を精読・邦訳し、内容の理解事項と疑問点を明確にしておくこと。復習としては、授業で得られた内容を、整理し、さらに関連する文献を読み、まとめること。						
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・International Handbook of Mathematics Education (Kluwer AP) ・Mathematics Education Library (Kluwer AP) 						
成績評価の基準と方法	欧文邦訳や授業中の問いかけに対する応答、レポートなどから理解度を計り、さらに、授業態度を総合して評定する。						

授業コード	14611	授業題目	代数学特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	木2
担当教員名	織田 進			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	8448			担当教員 E-Mail	ssmoda@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	代数学の出発点である「群」に関する知識と代数学の考え方を取得する。						
授業計画	講義者のプリントに従って、講義を行う。						
達成目標(達成水準)	抽象的な考え方に慣れ、小学校以来の知識を高所から見直すことができるようになること。						
授業時間外の学習	演習問題をやりながら授業の内容を深く理解する。						
教科書・参考書	参考書として、代数学入門(永田・吉田)培風館 など						
成績評価の基準と方法	出席状況・レポート等を総合的に評価する						

授業コード	14612	授業題目	代数学特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金3
担当教員名	織田 進			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	8448			担当教員 E-Mail	ssmoda@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	代数学特論 I の続きとして「環・体」に関する知識と代数学の考え方のパワーアップをさせる.						
授業計画	講義者のプリントに従って, 講義を行う.						
達成目標(達成水準)	抽象的な考え方に慣れ, 小学校以来の「演算・計算」の知識を高所から見直すことができるようになること.						
授業時間外の学習	演習問題をやりながら授業の内容を深く理解する.						
教科書・参考書	参考書として, 代数学入門(永田・吉田)培風館 など						
成績評価の基準と方法	出席状況・レポート等を総合的に評価する						

授業コード	14613	授業題目	代数学特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	2006	開講時期	1学期	曜日・時限	月4
担当教員名	佐藤 淳郎			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	平面代数曲線の基本的な性質について学ぶ..						
授業計画	講義者のプリントに従って, 講義を行う.						
達成目標(達成水準)	抽象的な考え方に慣れ, 小学校以来の直線や曲線等の知識を高所から見直すことができるようになること.						
授業時間外の学習	演習問題をやりながら授業の内容を深く理解する.						
教科書・参考書	参考書: 代数曲線入門—はじめての代数幾何—, 梶原健著, 日本評論社						
成績評価の基準と方法	出席状況・レポート等を総合的に評価する						

授業コード	14614	授業題目	代数学特論演習 II			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	木2
担当教員名	佐藤 淳郎			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	代数学特論 II の続きとして一般の代数曲線に関する知識を学ぶ。						
授業計画	講義者のプリントに従って、講義を行う。						
達成目標(達成水準)	抽象的な考え方に慣れ、中高で慣れ親しんだ曲線等の知識を高所から見直すことができるようになること。						
授業時間外の学習	演習問題をやりながら授業の内容を深く理解する。						
教科書・参考書	参考書: 代数曲線入門—はじめての代数幾何—, 梶原健著, 日本評論社						
成績評価の基準と方法	出席状況・レポート等を総合的に評価する						

授業コード	14621	授業題目	幾何学特論I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	月2
担当教員名	山口 俊博			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	088-844-8383			担当教員 E-Mail	tyamag@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	位相幾何学に関する基本的文献について講読し、考え方や証明方法を学ぶ。						
授業計画	基本的定理を学び、その応用として、帰納と類比により、法則を発見する手法を学ぶ。						
達成目標(達成水準)	数学的法則の発見のプロセスを理解、実践すること。						
授業時間外の学習	適宜提示する課題を考える。						
教科書・参考書	必要に応じて、指示する。						
成績評価の基準と方法	出席、学習態度(熱意)、レポートを総合評価する。						

授業コード	14622	授業題目	幾何学特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	月5
担当教員名	山口 俊博			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	088-844-8383			担当教員 E-Mail	tyamag@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	幾何学特論に準ずる。						
授業計画	実際に、学生に発見、証明、計算させる。						
達成目標(達成水準)	結果を談話会等で発表できる。						
授業時間外の学習	適当な参考書を探し、証明、計算する。						
教科書・参考書	必要に応じて、指示する。						
成績評価の基準と方法	出席、学習態度(熱意)、レポートを総合評価する。						

授業コード	14623	授業題目	幾何学特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	月5
担当教員名	中村 治			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	088-844-8452			担当教員 E-Mail	osamu@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	組み合わせ論又はグラフ理論に関する基本的文献、特に位相的性質について講読し、組み合わせ論やグラフ理論独自の考え方や証明方法を学ぶ。						
授業計画	組み合わせ論又はグラフ理論に関する基本的定理を学び、その応用として、数学的データを集め、帰納と類比により、法則を発見する手法を学ぶ。						
達成目標(達成水準)	数学的法則の発見のプロセスを理解すること。						
授業時間外の学習	適宜提示する課題を考える。						
教科書・参考書	必要に応じて、指示する。						
成績評価の基準と方法	出席、学習態度(熱意)、レポートを総合評価する。						

授業コード	14624	授業題目	幾何学特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	月5
担当教員名	中村 治			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	088-844-8452			担当教員 E-Mail	osamu@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	グラフ理論における各種アルゴリズムに関する基本文献を講読する。さらに、プログラム言語で実際にアルゴリズムを実装する方法を学ぶ。						
授業計画	グラフに関する基本的アルゴリズムを学び、Java で実装する。						
達成目標(達成水準)	アルゴリズムが理解でき、簡単なプログラムが作れるようになる。						
授業時間外の学習	適当な参考書を探し、課題として提出したプログラムを作る。						
教科書・参考書	必要に応じて、指示する。						
成績評価の基準と方法	出席、学習態度(熱意)、レポートを総合評価する。						

授業コード	14631	授業題目	解析学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	金 3
担当教員名	下村 宏彰			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	844-8442			担当教員 E-Mail	_shimomu@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	「純粋数学」「応用数学」または、「高校以下の学校教科書の検討」の中から、院生の希望時に応じて教材を選び、講義またはゼミ形式で授業を行う。						
授業計画	15 回の講義等を院生の理解度に応じて進める。						
達成目標(達成水準)	講義等の内容を理解して、それらを実践できる程度にこなせること。						
授業時間外の学習	講義中に関連した文献を挙げるので、場合によっては、それらを読み進めることが有益になると思う。						
教科書・参考書	使用する教材に応じて、適宜、指定する。						
成績評価の基準と方法	レポート、ゼミ形式のときは発表内容、授業中の態度、出席点等を総合して評価する。						

授業コード	14632	授業題目	解析学特論演習			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 4
担当教員名	下村 宏彰			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話	844-8442			担当教員 E-Mail	shimomu@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	解析学特論の続編で、場合によっては数学史等の話題で授業を行ってもよい。						
授業計画	解析学特論に同じ。						
達成目標(達成水準)	解析学特論に同じ。						
授業時間外の学習	解析学特論に同じ。						
教科書・参考書	解析学特論に同じ。						
成績評価の基準と方法	解析学特論に同じ。						

授業コード		授業題目	数学教育実践研究 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火5
担当教員名	國本景亀, 中野俊幸			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話				担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	数学教育における研究成果を踏まえて, 附属学校等での授業研究をもとに, 教材開発, 教材研究, 指導法等について, 理論的に研究することを指導する。						
授業計画	教材開発, 教材研究, 指導法等について, 数学教育学の理論的背景に基づいた実践的・実証的研究・調査の計画を立てさせ, 附属学校等の教員とも協議して, 実施させる。そして, その結果・成果を分析・考察して, 数学教育学の実践的可能性と有効性を検証させる。						
達成目標(達成水準)	数学教育学の実践的可能性と有効性が検証できたこと。						
授業時間外の学習	実践的・実証的研究・調査の計画を立てさせ, 附属学校等の教員とも協議して, 実施させる。そして, その結果・成果を分析・考察して, 数学教育学の実践的可能性と有効性を検証させる。						
教科書・参考書	研究・調査の内容・方法およびその実施計画に応じて, 提示する。						
成績評価の基準と方法	実践的・実証的研究・調査の立案・準備・計画・実施状況, および研究・調査の結果・成果を分析・考察の報告を見て, 総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	数学教育実践研究II			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1学期	曜日・時限	金1
担当教員名	織田、下村、佐藤、中村、山口			担当教員所属	数学教育専修		
担当教員電話				担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	<p>附属校園等で行われている授業の記録、観察及び授業資料の研究などを通じて、よりよい数学の授業のあり方や教材開発を、院生の専門分野を生かして、実践的に研究することを指導する。</p>						
授業計画	<p>教材開発, 教材研究, 指導法等について, 専門の数学の理論的背景に基づいた実践的・実証的研究・調査の計画を立てさせ, 附属学校等の教員とも協議して, 実施させる。そして, その結果・成果を分析・考察して, 数学教育の実践的可能性と有効性を検証させる。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>数学教育の実践的可能性と有効性が検証できたこと。</p>						
授業時間外の学習	<p>実践的・実証的研究・調査の計画を立てさせ, 附属学校等の教員とも協議して, 実施させる。そして, その結果・成果を分析・考察して, 数学教育の実践的可能性と有効性を検証させる。</p>						
教科書・参考書	<p>研究・調査の内容・方法およびその実施計画に応じて, 提示する。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>実践的・実証的研究・調査の立案・準備・計画・実施状況, および研究・調査の結果・成果を分析・考察の報告を見て, 総合的に判断する。</p>						

授業コード		授業題目	数学教育実践研究 I (長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限
担当教員名	國本・中野・織田・佐藤・山口・中村・下村			担当教員所属	数学教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。					
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。					
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。					
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者との協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	数学教育実践研究Ⅱ(長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限
担当教員名	國本・中野・織田・佐藤・山口・中村・下村			担当教員所属	数学教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。					
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。					
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。					
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	課題研究		単位数	4
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	通年	曜日・時限
担当教員名	織田進, 國本景亀, 下村宏彰, 中野俊幸, 中村治			担当教員所属	数学教育専修	
担当教員電話				担当教員E-Mail		
授業テーマと目的	各自の研究課題を設定して, その研究計画に従って高度な専門能力の育成を図るとともに, 院生自らが主体的に研究する能力を開発し, 研究内容の集大成を目指すように指導する。					
授業計画	各自の研究課題を設定させ, その研究計画に従って高度な専門能力の育成を図るよう指導する。そして, 院生自らが主体的に研究する能力を開発し, 研究内容の集大成を目指すように指導する。					
達成目標(達成水準)	研究課題に対して, 研究計画に従って高度な専門能力を発達させ, 主体的に研究する能力を付け, 研究内容を集大成できること。					
授業時間外の学習	各自の研究課題に対する研究計画に従って, 院生自らが主体的に研究し, 研究内容の集大成を目指すこと。					
教科書・参考書	各自の研究課題に対する研究計画, および指導内容・方法に従って, 提示する。					
成績評価の基準と方法	各自の研究課題に対する研究計画に従って, 院生自らが主体的に研究し, 研究内容の集大成ができたかを, 研究態度, 修士論文およびその発表を見て, 総合的に判断する。					